

協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま

第2次江田島市総合計画

市民満足度の高い
まちづくり



未来を切り開く
まちづくり

CONTENTS

はじめに	P1
基本構想	P1~2
基本計画 部門別計画 ~市民満足度の高いまちづくり~	P3~8
未来を切り開くまちづくり	P9~10

平成27年3月
江田島市

はじめに



合併から10年が経過し、我が国が人口減少社会に入らる中で、今後、江田島市の活力を維持・向上するためには、社会情勢に対応しつつ、教育・子育て環境、保健・医療、生活交通などの生活に密着した分野の充実を図るとともに、「歴史・文化」や「豊かな自然」、「地域資源」など、江田島市が有するポテンシャルを十分に発揮し、広域的な視点に立った交流を促進していく必要があります。

このため、江田島市が、新たな10年に漕ぎ出すうえでの指針となる「第2次江田島市総合計画」では、「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」を将来像とし、それを実現するための戦略として「市民満足度の高いまちづくり」及び「未来を切り開くまちづくり」を掲げました。

今後とも、市民や団体、行政など、多様な主体による協働により、一步一步、目指すべき将来像の実現に向け、力強く前進してまいりたいと考えています。

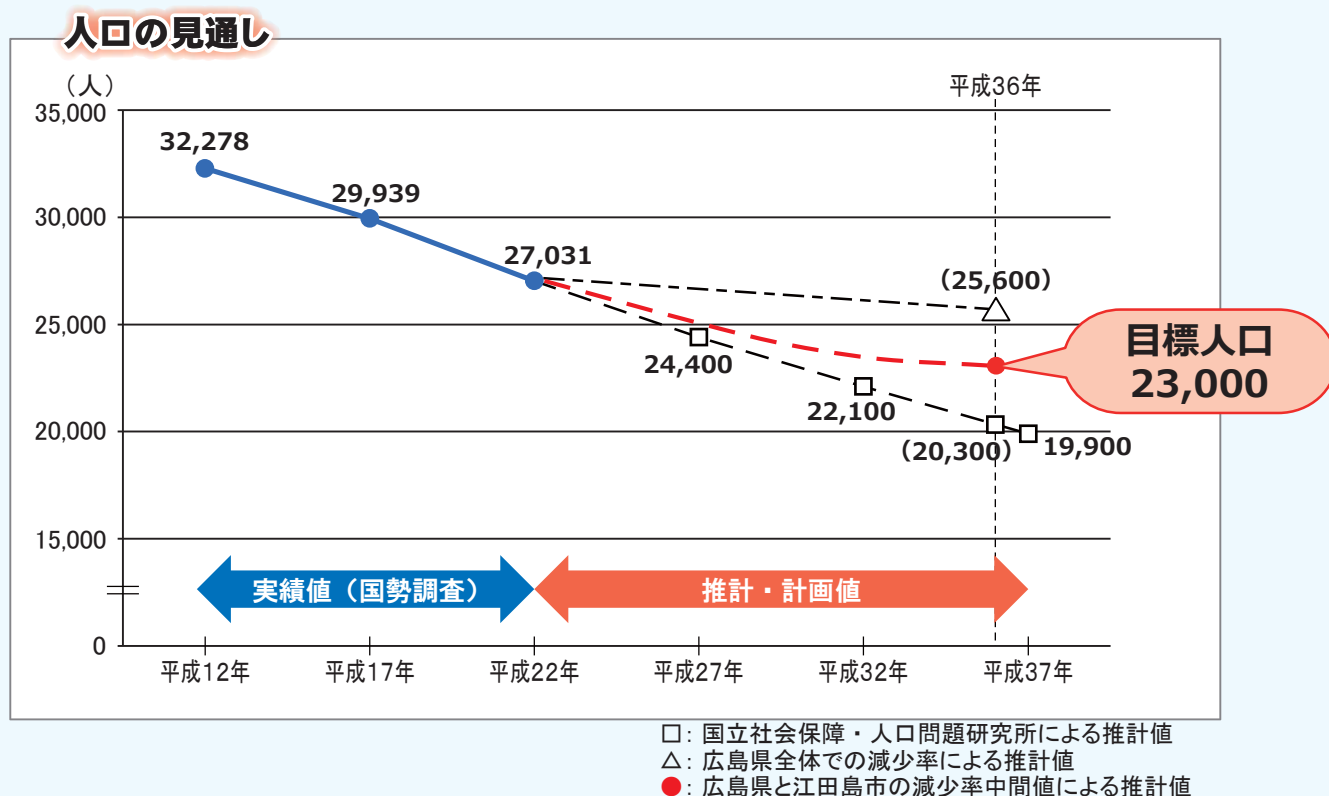
平成27年3月

江田島市長 田中 達美

基本構想

江田島市の人口は、今後とも広島県の平均を上回るペースで減少することが予測されています。地域の活力を維持していく上で、この傾向に歯止めをかけることが本市における最大の課題といえます。

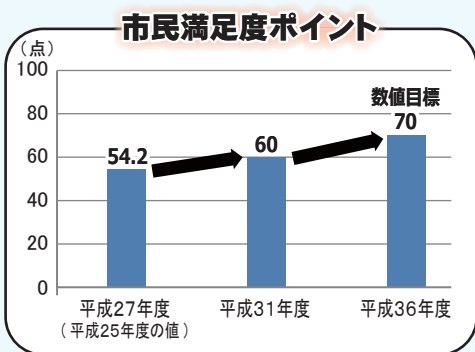
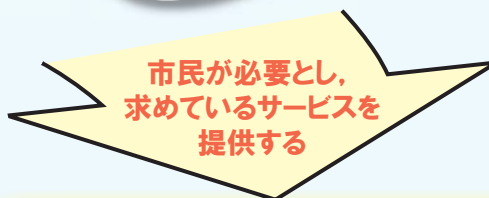
このため、転出の抑制や定住の増加を図り、人口減少に歯止めをかけることを念頭に、10年後の目指す姿『恵み多き島』の目標人口を23,000人と設定します。



市民満足度の高いまちづくり

市民満足度調査などを行いながら、市民ニーズを的確に把握し、様々な課題を解決することによって、地域に暮らす人々の満足度を高めていく「市民満足度の高いまちづくり」を第一の戦略として位置付け、各種事業に取り組みます。

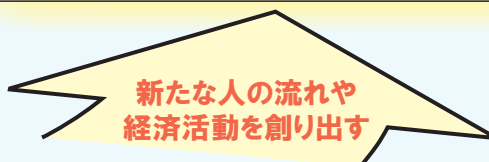
数値目標として、平成36年度に70点以上の市民満足度を目指します。



協働と交流で創りだす

『恵み多き島』 えたじま

「住みよさ」を備え、「つながり」「地域資源」を生かしてずっと住み続けたい、住んでみたい、魅力あふれる島



未来を切り開くまちづくり

え “絵になる島”

瀬戸内海で最も美しい
景観の島の実現

た “楽しめる島”

海や島の自然を生かした
観光・交流人口の拡大

じ “自慢できる島”

地域ブランドと人材育成による
新たな魅力づくり

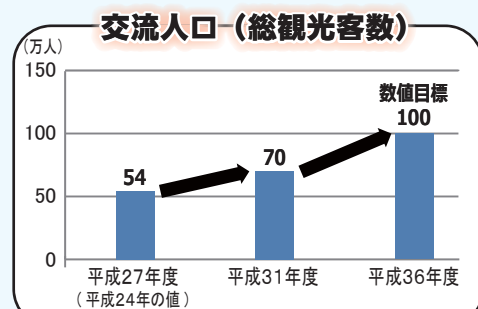
ま “また来たい島”

リピーター獲得に向けた
環境整備

島の「未来を切り開く」ためには新しい考え方や方法を取り入れ、新たな魅力や価値を生み出すことが求められています。

美しい景観づくりや新たな魅力づくりなどを4つの方向に沿ったプロジェクトとして取り組みます。

数値目標として、平成36年度に総観光客数100万人を目指します。



まちづくりの基本戦略(2つの戦略)

基本計画 部門別計画

教育・文化部門

将来像

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、
市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じる
『人が育ち、輝くまち』
が定着しています

1 学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」による生きる力を育むとともに、開かれた学校づくり、安全・安心やグローバル化・情報化に対応した教育環境づくりを推進します。

- 取組の柱 ●学校教育の内容（小中学校） ●学校と地域・家庭との信頼関係
●学校施設の整備

2 生涯学習の充実

公民館講座や体験学習などの充実、社会教育施設の整備・有効活用に取り組むとともに、地域の宝である伝統文化や文化財の保存・継承を図ります。

- 取組の柱 ●生涯学習活動の支援 ●社会教育施設の整備
●伝統文化・文化財の保存

3 スポーツの振興

地域団体と連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進、地域スポーツの振興を図るとともに、スポーツ・レクリエーション活動の場の整備・有効活用を進めます。

- 取組の柱 ●スポーツ・レクリエーションの普及・振興
●社会体育施設の整備



自然観察会（さとうみ科学館）



公民館学習

市民満足度の高いまちづくり

産業・観光部門

将来像

地域経済と雇用を支え、
UJIターン等の定住を促進する
『元気な産業・観光を生み出すまち』
が育っています

1 農林業の振興

有害鳥獣による農地被害対策，森林の整備，農業後継者の育成や農業生産法人化を進めるとともに，特産品の開発と6次産業化による付加価値の高い農業の確立に努めます。

- 取組の柱
- 農林業の生産基盤の整備
 - 農林業の後継者・担い手の育成
 - 農林産物の高付加価値化・ブランド化

2 水産業の振興

漁場環境の改善や水産資源の維持・増殖などにより「つくり育てる漁業」を推進するとともに，カキ，地魚の付加価値を高め，産地間競争に打ち勝つブランド化を図ります。

- 取組の柱
- 水産業の生産基盤の整備
 - 水産業の後継者・担い手の育成
 - 水産物の高付加価値化・ブランド化

3 商工業の振興

若者等の流出の抑制とUJIターンの促進，企業立地の促進に向けた情報発信，創業・起業や新分野進出への支援，就職相談会の開催などに取り組みます。

- 取組の柱
- 企業誘致の推進
 - 創業・起業への支援
 - 地場産業への支援
 - 労働者福祉の向上

4 観光の振興

自然を生かしたイベント開催や体験メニューの開発，PR・情報発信，観光案内板や宿泊観光関連施設の整備などに取り組み，“おもてなし”の力を高めていきます。

- 取組の柱
- 観光資源の発掘・魅力づくり
 - 宿泊・観光施設の整備



カヌー体験



新規就農研修の様子

福祉・保健部門

将来像

乳幼児期から高齢期まで、すべての市民が家庭や地域で、元気で生き生きと日常生活が送れる『健康で安心して暮らせるまち』が築かれています

1 子育て環境の充実

子育て中の親子を地域全体で見守る環境づくりなどに取り組むとともに、保育施設の再編整備や子育て支援サービス等の充実を図ります。

取組の柱 ●子育て支援サービスの充実 ●保育園・児童館等の整備

2 保健・医療の充実

生活習慣病の予防や市民一人ひとりが主体的に取り組むことができる健康づくりを推進するとともに、地元医師会等との連携強化や救急医療体制の確保に努めます。

取組の柱 ●保健・健康づくりサービスの充実 ●医療機関の充実

3 高齢者福祉・介護の充実

介護予防知識の普及・啓発や介護サービスの充実を図るとともに、住まい・医療・介護・福祉・介護予防・生活支援が一体的に提供される仕組みづくりに取り組みます。

取組の柱 ●高齢者福祉サービスの充実 ●介護サービスの充実
●高齢者福祉・介護施設の整備

4 障害者福祉の充実

障害者福祉に関する情報提供や適切な相談が受けられるよう、障害別の相談窓口を増やすとともに、就労訓練場所及び障害者雇用の確保に努めます。

取組の柱 ●障害者福祉サービスの充実 ●障害者福祉施設の整備

5 社会福祉の充実

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るとともに、高齢者等の見守り活動、災害時ボランティアの育成と組織化などを地域と行政が一体となって推進します。

取組の柱 ●セーフティネットの確保 ●地域福祉・ボランティアの推進



子育て支援イベント



介護予防事業

生活・環境部門

将来像

美しい自然と環境に育まれながら、
市民一人ひとりが互いに尊重しあい、心豊かに暮らせる
『生活と環境を守り、高めるまち』
が築かれています

1 人権尊重と男女共同参画の推進

広報・啓発や学習機会の確保などにより、すべての人々の人権が尊重される社会、男女が共に認め合い、能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に取り組みます。

取組の柱 ●人権尊重の社会づくり

●男女共同参画の推進

2 公衆衛生の確保

各種団体等と連携し、環境衛生・環境美化意識を高めるための啓発や地域における取組を促進するとともに、循環型社会を形成するためのゴミ削減やリサイクル等を推進します。

取組の柱 ●公衆衛生の確保・環境美化

●ゴミ対策・リサイクルの推進

3 自然環境の保全

太陽光発電システム等の設置促進や省エネ・節電対策の推進などによる地球温暖化対策、優れた自然環境や生物多様性の保全に取り組みます。

取組の柱 ●地球温暖化対策

●自然環境の保全

安全・安心部門

将来像

日頃から災害や事故などの防止と、
万一の災害等が発生した場合の備えを整え
『災害に強く、安心して暮らせるまち』
が築かれています

1 大規模災害時の危機管理

防災協働社会を実現するため、自主防災組織の育成や防災情報の提供に取り組むとともに、避難所設備等の充実、危機管理体制の構築を図ります。

取組の柱 ●大規模災害等に備えた危機管理体制の構築

●地域防災活動への支援

●避難所等の整備

2 総合的な消防体制の充実・強化

消防や救急に係る資機材や施設の整備、人材育成を推進するとともに、講習や指導、広報活動を通じて予防救急や防火意識の向上に取り組みます。

取組の柱 ●消防体制の充実・強化

●火災予防の推進

●救急体制の充実・強化

3 暮らしの安全の確保

防犯意識の高揚や防犯対策施設の整備・充実、交通安全対策の推進を図るとともに、消費者被害の防止と救済に対応するための啓発や相談体制の充実に努めます。

取組の柱 ●防犯・交通安全の確保

●消費者行政の充実

基盤部門

将来像

市民生活や都市生活を支える
道路・交通，上下水道，住宅，公園など
『しっかりとした基盤を備えたまち』
が築かれています

1 都市基盤の整備

道路整備によるネットワーク形成を進めるとともに，維持管理へのアダプト活動の拡大を図るほか，通勤・通学や観光・物流・漁業振興を支える港湾・漁港整備，上水施設の整備，下水道整備の計画的な推進，施設の長寿命化に取り組みます。

また，砂防，急傾斜地の整備や高潮対策等の防災事業を計画的に実施します。

- | | | |
|------|----------------|-----------|
| 取組の柱 | ●道路の整備 | ●港湾・漁港の整備 |
| | ●防災対策（河川・急傾斜地） | ●上水道の整備 |
| | ●下水道の整備 | |

2 生活基盤の整備

市営住宅の長寿命化や民間住宅の耐震化促進などに取り組むとともに，公園緑地の地域への管理委託，有効活用に向けた配置見直しなどを行います。

また，適切な規制・誘導による大規模未利用地の有効活用，将来を見据えた公共施設の再編・整備，光回線などの情報通信基盤の整備・活用に取り組みます。

- | | | |
|------|------------|-------------|
| 取組の柱 | ●住宅・住環境の整備 | ●公園緑地の整備 |
| | ●計画的な土地利用 | ●公共施設の再編・整備 |
| | ●情報通信基盤の整備 | |

3 生活交通の確保

公共交通の利用状況やニーズ，役割，効果などを総合的に勘案しながら，海上交通と陸上交通が一体となった，持続可能で利用しやすい公共交通体系の構築を図ります。

- | | | |
|------|----------|---------|
| 取組の柱 | ●海上交通の確保 | ●バス等の確保 |
|------|----------|---------|



江田島市内の公園



海上交通

地域部門

将来像

市民相互や都市部の人との様々な交流やふれあいが生まれ、
UJIターンによる定住も多くなり、
『**地域が元気で、にぎやかなまち**』
が築かれています

1 都市との交流・定住の促進

効果的な情報発信や修学旅行生といった若年層の来訪などにより、幅広い交流を促進するとともに、空き家を活用した住居確保支援などにより移住の促進を図ります。

- 取組の柱 ●都市との交流の促進 ●定住促進策の推進

2 コミュニティの振興

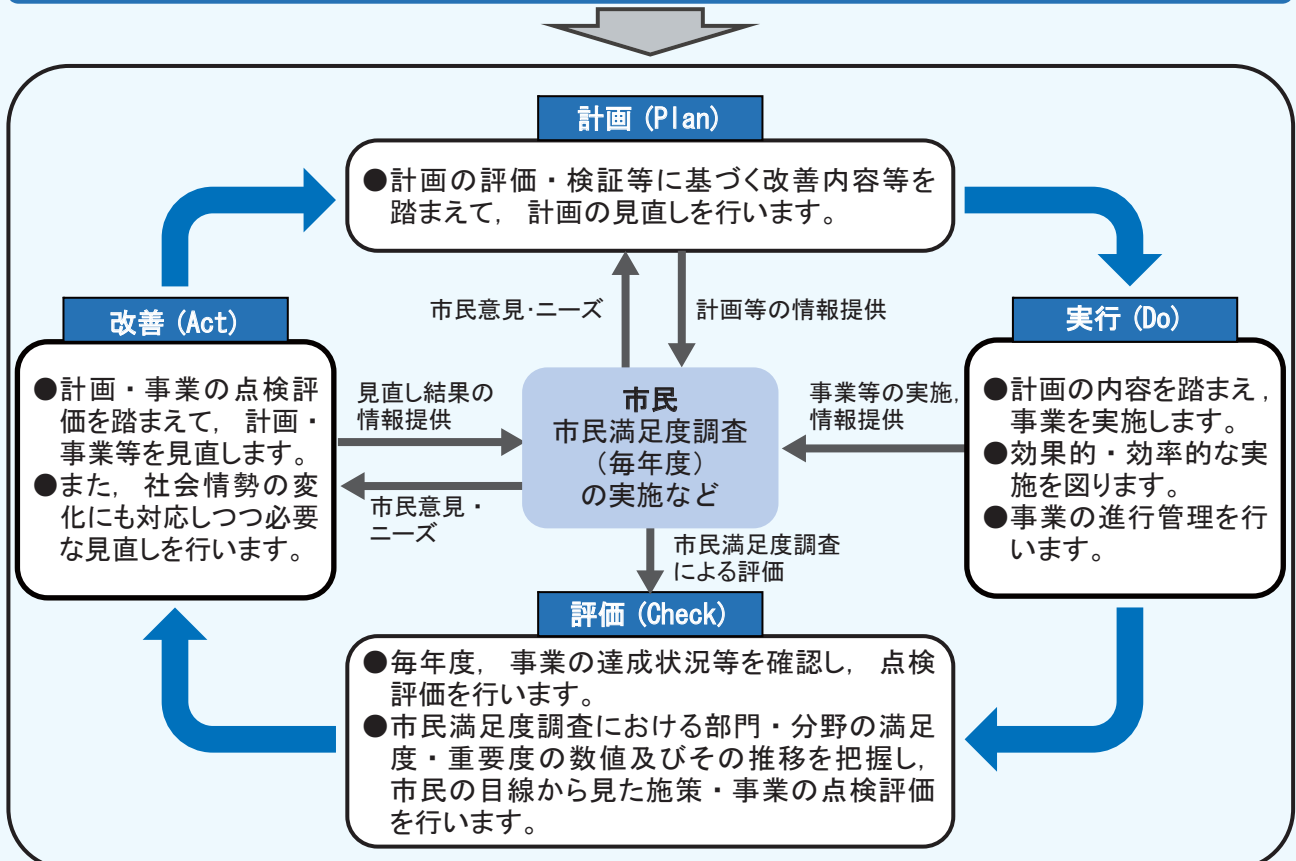
まちづくり協議会の設置を促進し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するとともに、外国人市民との交流や相互理解による多文化共生社会の実現などに取り組みます。

- 取組の柱 ●自治会等の地域活動への支援 ●国際化・多文化共生の推進
●地域活動拠点の整備

計画の推進 ～計画の進行管理と施策・事業の効果の発揮～

「10年後の目指す姿」や目標人口、数値目標を実現していくためには、適切な計画の進行管理を行う必要があります。このため、施策・事業を持続的に改善していく仕組みである『PDCA サイクル』を取り入れ、各施策の検証を行い、計画の定期的な見直しを行います。

行政評価の仕組みの充実・強化



未来を切り開くまちづくり

「絵になる島」づくりプロジェクト

基本テーマ

瀬戸内海で最も美しい景観の島の実現

江田島市の最大の地域資源は、美しい海と島の豊かな自然です。この恵まれた自然を次世代に引き継ぎ、更なる美化に努めることで、瀬戸内ならではの多島美を生かした、市民だけでなく、江田島市外の人にとっても癒しや安らぎにつながる、瀬戸内海で最も美しい景観の島を目指します。

1 海と川の美しい環境づくり

- 主な取組
- ・ 漁場環境の改善（海域の浄化など）
 - ・ 不法投棄防止のための啓発及び監視体制等の強化 など

2 島の緑の再生・活用

- 主な取組
- ・ 計画的な間伐等による森林の保全と防災対策
 - ・ オリーブ栽培等の普及促進及び技術指導の充実 など

3 公園緑地の魅力づくりと有効活用

- 主な取組
- ・ 市民参加型公園管理の推進
 - ・ 公園緑地の管理・活用計画を踏まえた整備・更新 など

4 環境美化・景観づくりに関わる活動の促進

- 主な取組
- ・ 自主的な清掃・除草活動への支援
 - ・ 江田島市公衆衛生推進協議会等の支援による
美化意識等の向上 など



沖美町からの眺め



オリーブの実

「楽しめる島」づくりプロジェクト

基本テーマ

海や島の自然を生かした観光・交流人口の拡大

江田島市は、サイクリングやトレッキング、カヌーをはじめとしたマリンスポーツ、キャンプ、みかん狩りなどの農業・漁業体験などアクティビティの宝庫です。こうした島の魅力を生かして、江田島市内外の人々が集まり、気軽にアクティビティを楽しめる島を目指します。

1 多彩な体験型観光・イベントの展開

- 主な取組
- ・ マラソン大会などのスポーツイベントの開催
 - ・ 観光イベントの支援 など

2 アクティビティの島づくり

- 主な取組
- ・ 観光案内板の整備
 - ・ カヌー・登山・サイクリングなどの
アウトドアスポーツの振興 など



サイクリング

『え・た・じ・ま』プロジェクトの展開

「自慢できる島」づくりプロジェクト

基本テーマ

地域ブランドと人材育成による新たな魅力づくり

江田島市は、海上自衛隊（旧海軍兵学校）に代表される歴史・文化資産に加え、国内有数の生産量を誇るカキをはじめとした3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）の産地です。こうした資源にオリーブなど新たな取組を組み合わせ、県内外に自慢できるブランドや特産品のある島を目指します。

また、島ならではの特色のある教育や、県内・全国レベルで通用する文化・スポーツ活動を支援することにより、地域に愛着があり、かつ、市民の誇りとなる文化人やスポーツ選手、将来の江田島市を支える人材などを輩出する島を目指します。

① 特色ある教育・スポーツによる人づくり

- 主な取組
- ・地域スポーツの振興
 - ・集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進 など

② えたじまブランドづくり

- 主な取組
- ・農産物の新商品開発による6次産業化の推進
 - ・カキ生産の安定による特産品づくりの促進 など



カキの水揚げ

「また来たい島」づくりプロジェクト

基本テーマ

リピーター獲得に向けた環境整備

新たな人の流れを大きくするには、江田島市へのリピーターを増やしていく必要があります。来島者へのホスピタリティ（おもてなし）の向上に加え、島の魅力を生かしたイベント開催や交流施設の充実、2地域居住の推進などにより、四季を通じて、繰り返し訪れてもらえる島を目指すとともに、住んでみたいと思ってもらえる島を目指します。

① おもてなしの島づくり

- 主な取組
- ・交流・定住推進活動の支援
 - ・主要観光施設への情報インフラ等の整備 など

② 交通と宿泊施設の確保

- 主な取組
- ・公共交通の利用やサービス向上に資する取組促進
 - ・整備方針に基づいた宿泊観光関連施設の整備 など

③ 交流・定住の条件整備

- 主な取組
- ・えたじま暮らし体験の促進
 - ・定住促進のための住居確保支援 など



移住者交流会



カキ祭



<市長賞> 江田島市立柿浦小学校 6年生
濱先 杜祐さん



<議長賞> 江田島市立鹿川小学校 5年生
大田 明未さん



<市長賞> 江田島市立大柿中学校 1年生
平井 一真さん



<議長賞> 江田島市立三高中学校 3年生
小林 友紀乃さん

わたしの好きな江田島市



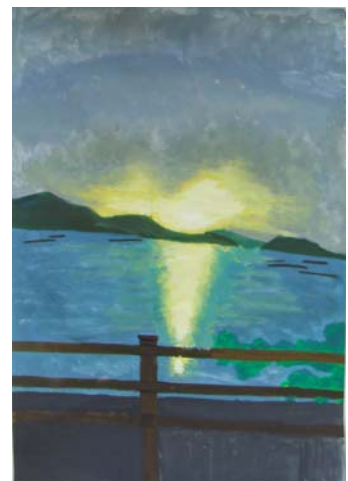
<教育長賞> 江田島市立大古小学校 3年生
中田 恵理香さん



<審議会会長賞> 江田島市立江田島小学校 5年生
小跡 遙春さん



<教育長賞> 江田島市立能美中学校 2年生
湊 璃玖さん



<審議会会長賞> 江田島市立江田島中学校 3年生
猿渡 大夢さん

第2次江田島市総合計画